

## 成田市自然観察会

### 昆虫観察会

井上 隆夫（佐倉市）

日 時：2022年8月3日（水）9:30～12:00 天気：晴れ

場 所：坂田ヶ池総合公園、参加者：9名（大人4名 子ども5名）

担当指導員：田島・藤田 隆・小川・伊藤・井上、成田市2名

猛暑の中の観察会となりました。そのため キャンセルが多く4組の親子の参加者となりました。メイン駐車場に集合し、挨拶と暑さ対策等の注意事項を説明して、2班に分かれてスタートです。釣りエリアの桜並木は木陰が涼しく、さわやかな風でしばし暑さを忘れることができました。斜面林の下の道に入ると、様々なセミの声が響いていました。アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクホウシ、ニイニイゼミ、ヒグラシの大合唱です。

休憩広場ではいよいよ昆虫採集開始です。捕虫網をふりながら元気にバッタやイナゴを追いかける子ども達、湧水の流れる小川ではサワガニ取りに夢中になるお父さんの姿も見られました。採集した昆虫を一匹ずつプラカップに入れて、木陰の大きなシートの上に並べます。白いシートにはピラミッド型にテープが貼ってあり、生産者である植物、第1次消費者の草食動物、第2次、3次の肉食動物等の食物連鎖がわかるように区分してプラカップを並べました。子ども達はショウリョウバッタやオンブバッタ、ヒシバッタ、イナゴの数に驚き、オオカマキリやアマガエル、シオカラトンボ等を並べていく中で、食うものと食われるものとの関係を知りました。最後に採集した虫やカニを元の場所に戻しました。ちょっぴり残念そうな子ども達の顔が印象的でした。

浮橋を渡り、中央広場下の木陰でバッタのゲームを行いました。爪楊枝に赤、緑の色を塗ったものと、無色の楊枝それぞれ25本ずつをロープで仕切った4㎡程度のエリアにばらまき、ゲーム開始です。数分で、赤い楊枝は回収されましたが、緑の楊枝はなかなか回収できませんでした。草地にいるバッタがなぜ緑色が多いのかを子ども達は考えることができたようです。

ゴールの管理棟では、昆虫クイズと今日のまとめを行いました。参加した子ども達一人ひとりに感想を述べてもらい、捕まえたかった虫の名前を発表してもらいました。

その後、4人の保護者の皆さんにお話しをいただきました。この公園には何回も来ているけれど、観察指導員と一緒に回るとたくさんの発見があるとのことご意見や、ご自身は子どもの頃に虫と遊ぶ経験が無く、触ることができなかった。今回子どもと一緒に虫を追いかけることができ、子どもの生き生きとした姿を見ることができたことがうれしかったとの感想もいただきました。



大人も子どもも昆虫採集に夢中



木陰のシート上に食物連鎖のピラミッドが完成